

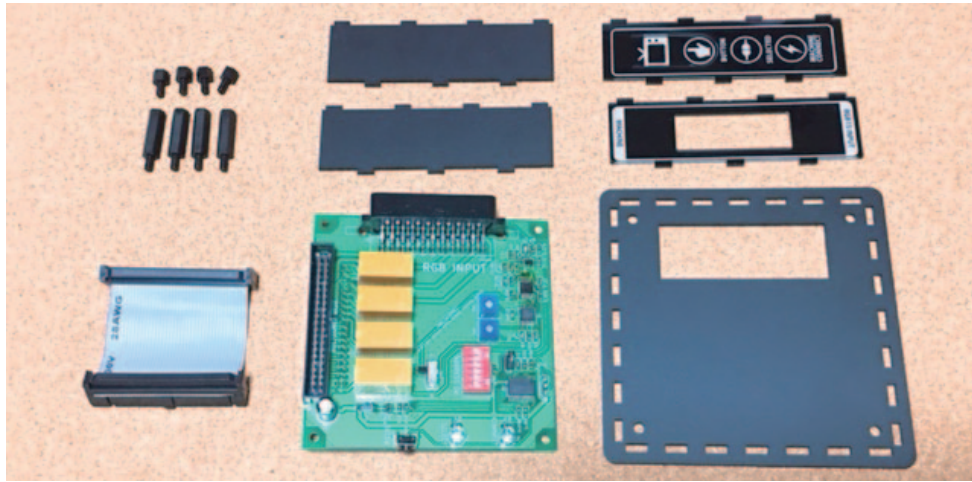
Electric Auto Selector For RetroPC/ GAME

クラシック PC/GAME用電子セレクター クラシックモンスター RGB21 入力ユニット

●安全にご利用頂くため、ご使用前には必ずお読みください

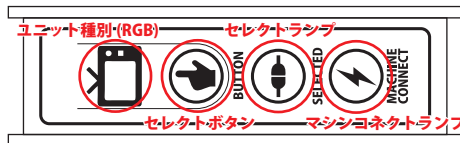
本機シリーズは、複数のレトロパソコンやレトロゲーム機を、1台のモニターやインターフェイスで使用するためセレクターです。本機に付属するアダプター以外のご利用は、故障の原因となる恐れがありますのでおやめください。コネクタを接続する際には頭髮の巻き込みや指の挟み込みにも充分ご注意ください。頭髮がなくなっても責任は負いません。本機は食べることができませんので、決して口にしないで下さい。万が一、本機を食べてしまった場合には、速やかに医師にご相談ください。小さいお子様の手の届かない所でご使用ください。高温・結露する場所でのご使用は、本機の故障や寿命を縮める原因となりますので、充分ご注意ください。未永くご使用なされるため、なるべく涼しいところでご使用ください。本機から発火・発煙・異臭がする場合には、本機の使用を即刻中止してください。クラシックパソコンでご使用頂くという性質上、本機使用時のパソコンの故障については責任を負いません。本機の接続・着脱の際にはコネクタの先をしっかりと持って優しくお取り扱い下さい。本機は腫れ物を扱うかのごとく丁寧に使用頂くのがベストです。

●付属品

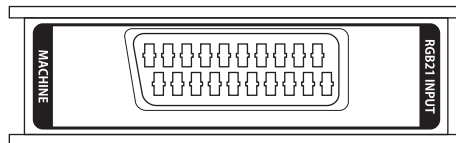


RGB21 ピン入力基板 x1 / フラットケーブル x1 / 仕切亚克力板 x1 / 側面亚克力板 (スイッチ側) x1 / 側面亚克力板 (コネクタ側) x1 / 側面亚克力板 (黒) x2 / 5mm オスメススペーサー x4 / 20mm オスメススペーサー x4

●映像入力ユニットの説明



ユニット前面には、セレクトボタン (BUTTON)、セレクトランプ (SELECTED)、マシンコネクトランプ (MACHINECONNECT) があります。ユニットをセレクトする際にはセレクトボタンを押してください。セレクトされるとセレクトランプが点灯します。マシンコネクトランプは、接続されているマシンの電源が ON になり、映像信号が送られてくると点灯します。



RGB21 INPUT へはパソコンやゲーム機へ接続したケーブルを接続してください。

●ユニット追加方法 (分解の際には以下の逆の作業を行ってください)



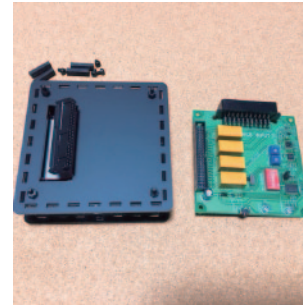
①完成しているセレクターの天面亚克力板を外します。4か所の亚克力ネジを外して、天面亚克力をお取りください。



②基板上にある4か所の20mmメスメススペーサーを、追加ユニットに付属している20mmオスメスコネクタへ変更します。次に基板上的コネクタへフラットケーブルを上図のように接続してください。



③追加ユニット付属の仕切亚克力板をセットします。ネジ山に合わせて亚克力板をセットしたら、付属する5mmオスメススペーサーのメスネジ部で取り付けてください。



④RGB入力基板裏のコネクタへ仕切亚克力板から出ているフラットケーブルを接続します。

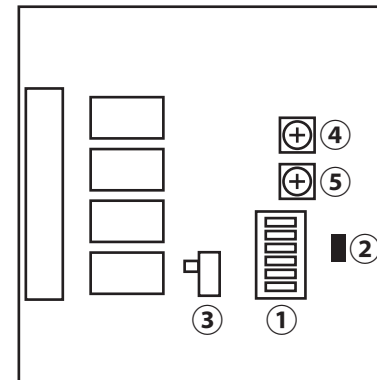


⑤RGB入力基板の4隅のネジ穴へ、5mmオスメススペーサーのオスネジ部を取り付けてください。さらに次段へユニットを追加接続する場合には20mmオスメススペーサーで基板を留めます (→②から同じ作業を行います)



⑥追加ユニットがない(最後尾)場合には、20mmメスメススペーサーで基板を留めます。側面亚克力を取り付けた後、①で取り外した天面亚克力を亚克力ネジで取付してください (→完成図は①と同じです)

●基板の設定方法 (入力側で出力信号を生成するためパソコンやゲーム機単位で設定可能です)



①アドレス設定ディップスイッチ

他のユニットと重複しないアドレスに設定します。※同じアドレスに設定すると、同じアドレスが設定されたユニットが選択された場合、同じアドレスの全てのユニットが選択されます。キーボードマウスユニットなど連動が必要な場合に使用します。

②自動セレクト機能の ON/OFF ジャンパー

映像信号を検知する自動セレクト機能を ON/OFF するためのジャンパーです。ジャンパーピンがセットされショートしている状態が ON です。※出荷状態は ON

③混合同期 (C)/ 水平同期 (H) 信号選択スイッチ

水平同期信号出力線から出力する信号を、混合同期信号 (C)/ 水平同期信号 (H) から選択するスイッチです。通常は混合同期信号 (C) で使用します。混合同期信号 (C) で動作しないソコン・ゲーム機や液晶モニターをお使いの場合には水平同期信号 (H) にしてお使いください。※調整用可変抵抗での設定が必要になります。

④水平同期信号周波数設定 (水平同期 (H) 選択時)

最適周波数を設定する可変抵抗です。15KHz 以上の混合同期信号で動作しない場合には、調整用可変抵抗を回して設定します。

⑤水平同期信号長設定 (水平同期 (H) 選択時)

同期信号長を設定する可変抵抗です。15KHz 以上の混合同期信号で動作しない場合には、調整用可変抵抗を回して設定します。